

うたしな

Utashina



【今月の表紙】

10月5日、アリーナチロルにおいて第2回目となる北海道漬物選手権が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、早々に一部の漬物試食が品切れとなるほどの大盛況。来場者は、出品者自慢の独創的でおいしい漬物に舌鼓を打ちながら、星澤幸子さんの講演会などを交えたイベントを楽しみました。



歌志内市のアドレス

ホームページ <http://www.city.utashina.hokkaido.jp/>

Eメール info@city.utashina.hokkaido.jp

ストーブを安全に使用しましょう……………	2
冬の交通安全運動……………	4
肝炎ウイルス・エキノコックス症検診を受けましょう…	5
戸籍・住民票の請求には本人確認書類が必要です……………	6
市有財産を売却します……………	7
広報トピックス……………	8
くらしのカレンダー……………	10
くらしの情報……………	12

ストーブを安全に！

朝晩の冷え込みも厳しさを増し、本格的に暖房器具が活躍する季節となりました。

北国に生活する私たちにとって最もなじみ深い暖房器具「ストーブ」も、近年は多機能化・高機能化が進み、真冬でも快適に過ごせるようになりました。

私たちの生活に欠かすことのできない「ストーブ」ですが、皆さんは安全に取り扱うことができているでしょうか。高機能化により安全面が向上した現在でも、ストーブが原因の火災は依然として火災原因の上位に位置しています。

これらの火災は、そのほとんどが取り扱いや管理上の不注意によるものです。ストーブが原因の火災を出さない安全な取り扱いについて、もう一度確認してみましょう。

〈消防本部予防・保安グループ 電話 4233255〉



ストーブを安全に使用するポイント

- 発火の危険があるものをストーブの近くで使用しない！
- ストーブの上方に洗濯物などを干さない！
- ストーブの前方に燃えやすいものを置かない！
- 寝るときや外出するときは必ず消火！

ポータブルストーブにもご注意を！

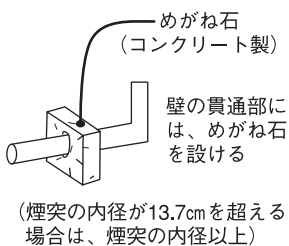
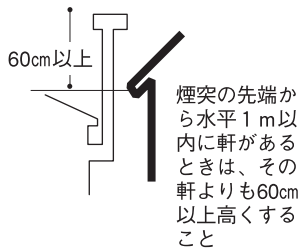
- 給油は必ず消火してから行う。
- 給油したあとは、タンクのキャップがしっかりと閉まっているか確認する。
- 刈払機用などのガソリンを保管する方は、灯油と間違えないよう必ず専用容器に入れ、品名を書いておく。



▲スプレーを火のそばで使うのは危険です！

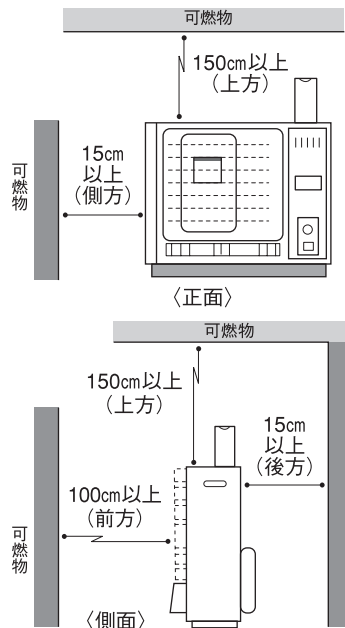
※下段に、正しいストーブの設置例を掲載しました。お宅のストーブは安全に設置されていますか？ 今一度確認を！

石油ストーブ及び煙突等の設置要領

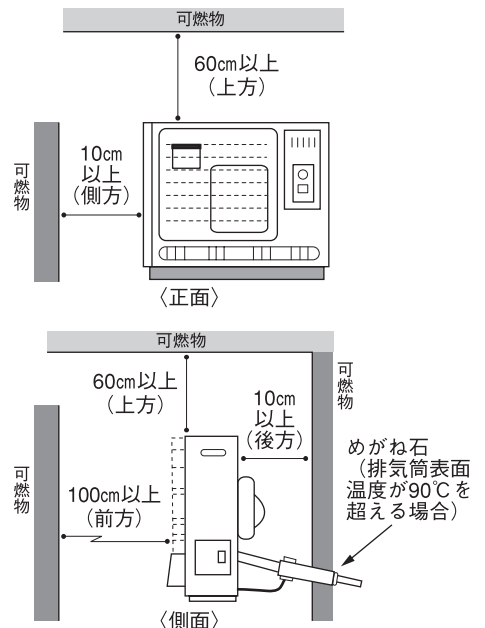


■半密閉式自然対流形

(機器の上方、前方に熱を放散するもの)



■密閉式・強制給排気形



電気火災に注意!

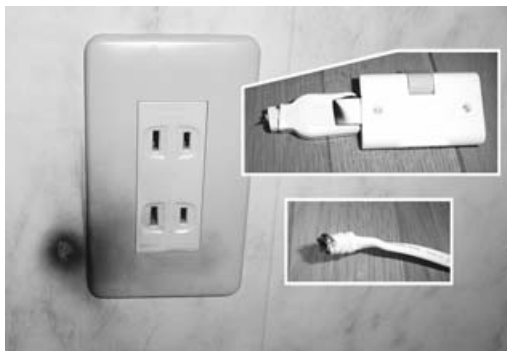
私たちの生活を豊かにするエネルギー「電気」。日常生活に欠かせない電気ですが、ここ最近、電気製品にかかわる火災発生件数が増加傾向にあります。

製品の欠陥による火災もありますが、ほとんどが使用している私たちの不注意や維持管理不足、または長年の使用による性能の劣化が原因です。

今一度、電気や電気製品の取り扱いについて考えてみましょう。〈消防本部予防・保安グループ ☎ 4233255〉

電気火災を防ぐポイント

- ▼電気製品を使用する前に、取扱説明書をよく読みましょう。
- ▼使用していない電気製品のプラグはコンセントから抜くようにしましょう。
- ▼コードを家具の下敷きにしたリ、無理に曲げたりして傷つけないようにしましょう。
- ▼プラグを抜くときはコードを引っ張らず、プラグ本体をもつて抜くようにしましょう。
- ▼コードを束ねたり、ねじれたまま使用しないようにしましょう。
- ▼本場に古い電気製品は思い切つて処分することも必要です。電気製品には耐用年数があり、



永久に使用できるものではありません。

◀長期間折れ曲がった状態で使用したため、内部でショートし、焼きちぎれたコード。壁が焦げるほどの火花が発生。

119番の日【11月9日】

11月9日は、「119番の日」です。みなさんは、いざというときに正しく119番通報ができますか?

火災や交通事故などが発生した場合に、早く、正しく通報できるように、普段から次のことを心がけましょう。

〈消防本部予防・救急グループ ☎ 4233255〉

通報のポイント

- ① 火事・救急の区分をはっきり。
- ② 住所は詳しく（目標物を話すとわかりやすい）。
- ③ 火事の場合は何がどの程度燃えているか。救急のときは急病かケガか。
- ④ 火事の場合は逃げ遅れた人がいるかどうか。救急のときは傷病者の詳しい状態。
- ⑤ 通報者の氏名・連絡先をあきらかに。



携帯電話から通報するときの注意点

- ① 局番なしで「119」にかける。
- ② 通報場所の住所がわからない場合は、目標になる建物や、電柱・自動販売機に書かれている住所などを伝える。
- ③ 自動車運転中の通報はたいへん危険なので、安全な場所に停車してから通報する。
- ④ 電波障害や地理的状況などにより、市内で通報しても他市町村の消防署につながる場合があるので、その場合はつながった先の通信員の指示に従う。



ご理解とご協力を

■消防車・救急車は、通報してから到着するまで地域によっては数分かりますのでご理解ください。

■緊急時以外は、119番での問い合わせには応答できません。火災の問い合わせなどは一般電話(☎4233255)をご利用ください。

耳などが不自由な方はファックスで

耳や声が不自由な方は、火事や救急の通報、その他消防に用事があるときはファックスをご利用ください。

緊急時に備え、住所・氏名を書いた用紙を作成しておく便利です。消防のファックス番号は4235210です。